

## 第5回 CS-NET サロンに参加して

堤 さなえ(福岡県立大学大学院)



第5回CS-NETサロンが2024年12月21日(土)14時から16時まで、ハイブリッド(対面&Zoomによるオンライン)にて同志社大学で開催され、当日の参加者は18名(対面13名、オンライン5名)でした。17時からの懇親会には10名が参加しました。

研究支援委員会では、初期キャリア研究者の情報交換および相互交流の促進を目的として、初期キャリア研究者のネットワーク(Creative Support Network:略称CS-NET)を立ち上げて活動を行っています。今回は、「サロンを企画してみませんか?」をテーマに開催されました。次年度に実際に初期キャリア研究者が主体となってサロンを開催していく前段階として、自由に意見を出し合い、一緒にサロンを企画しました。

はじめに、4~5人で1つ、計4つ(対面で3つ、オンラインで1つ)のグループに分かれて、自己紹介と意見交換を行いました。自己紹介では、普段の研究や悩み、不安などを自由に話しました。また、どのようなサロンに興味があり、知りたいことは何か、どのようなサロンなら参加したくなるのかを考えました。その際、以前開催したサロンの企画や様子を参考にしながら話し合いました。

私の参加したグループは、大学院生と大学教員で構成されていました。なかには、大学教員として働きながら、博士課程の院生として博士論文を執筆している方もいました。このグループでは、論文作成や査読、キャリア形成についての企画案が出ました。また、サロンを企画することで、初期キャリア研究者それぞれが抱える悩みを話す場にもなり、解決方法を一緒に考えることもできました。皆さまの話はとても興味深く、学びの多い楽しい時間になりました。

その後、グループごとに話し合った内容を発表しました。その内容を大きく分けると、研究について、キャリア形成について、プライベートについてです。研究については、研究方法や分析、査読論文の通し方、研究会・共同研究の探し方、研究費の取り方、気軽な発表の機会、学部からのストレート院生の研究の積み重ね方、研究者としてのNPOの立ち上げ方などの話がありました。キャリア形成については、修士論文・博士論文を書いた後の研究の進め方、就職後の研究の進め方、具体的なキャリアデザイン(社会人院生、留学生、学部から修士、修士から博士、博士から教員への道など)の話がありました。プライベートについては、研究者・大学教員としてのワーク・ライフのバランスのととり方、日常的な交流の場(オープンチャットなどのツールを使って気軽に相談できる場)の必要性についての話がありました。

懇親会はインドカレーのお店で開催されました。おいしい料理を囲んでそれぞれの研究テーマ、就職活動、普段の生活や仕事、日常生活における「おもしろエピソード」などを話しました。皆さまがそれぞれ歩んできたこと、挑戦したことが今に繋がっていることを実感し、私自身もモチベーションが高まりました。

サロンを開催することで、初期キャリア研究者の交流の場ができ、地域や研究領域などに関わらず気軽に会話を楽しめる時間ができること、また、出会いの場や居場所につながることを感じました。サ

ロンが仲間に出会える機会となり、たくさんのつながりができる場になっていると思います。

研究支援委員の皆さま、初期キャリア研究者の皆さまの貴重な経験や知恵をいただける時間になりました。今後も、日本福祉学会全体で研究や教育活動の活性化に向けて、皆さまとつながっていければ幸いです。このたびは、貴重な時間をありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。